



名称	型式	価格
速度計試験装置	FJE-785SMT	¥33,600,000

※車種ごとに詳細が分かりますので
JR営業所まで御問合わせください。

製品概要

FJE-785SMT 速度計試験装置は、今後編成される車両全ての速度発電機の試験を行うことができます。速度発電機を追加・変更する場合は、駆動部治具の変更・改修とスケジュールファイルの変更で全ての速度発電機の試験に対応出来ます。

駆動部は、速度発電機に応じて必要な治具を作成して接続し、スケジュールファイルでは、新規の速度発電機を登録する事によりその他の試験ファイルを簡易に作成する事が出来ます。そのため、車両・速度発電機が変わっても試験装置を改修する事なく迅速に対応する事が出来ます。

製品仕様

1. 処理部

- 1) 主処理部
 - ①CPU INTEL CORE 2 DUO (2.53Ghz)
 - ②メモリ 2GB
 - ③HDD 80GB
 - ④OS WINDOWS
 - ⑤ディスプレイ 15インチ
 - A) タイプ カラー液晶ディスプレイ XGA
 - B) 表示解像度 1024×768
 - C) 表示色 256万色
- 2) 処理部 拡張ユニット PCIバスフルサイズ13スロット
- 3) プリンター部 レーザープリンター A4モノクロ

2. リリースキャナ

- 1) リレー形状 4回路
 - 2) 容量 100V 500mA
 - 3) 耐圧 250V
 - 4) 動作時間 20mS
- 切換数 16+ () チャンネル

3. 測定回路部

- 1) 基準速度計
 - ①測定範囲 0.0~199.9km/h
 - ②測定精度 ±0.1km/h以下
- ③車輪径補正 キーボード
 - ④設定方式 mm
 - ⑤設定単位
- 2) 交流電圧計
 - ①測定範囲 0.01~39.99V
 - ②測定精度 0.2% FS以内
 - ③測定周期 0.5秒以内
- 3) 交流電流計
 - ①測定範囲 0.01~99.9mA (単位切換)
 - ②測定精度 0.25% FS以内
 - ③測定周期 0.5秒以内

3. 測定回路部

- 4) 直流電流計
 - ①測定範囲 0.01~9.99mA
 - ②測定精度 0.2%FS以内
 - ③測定周期 0.5秒以内
- 5) 抵抗計
 - ①測定範囲 0~199Ω
 - ②測定精度 0.2%FS以内
 - ③測定周期 0.5秒以内
- 6) 回転計
 - ①測定範囲 0.1~1999.9r/min
 - ②測定精度 ±0.1r/min
 - ③測定周期 1秒以内
 - ④その他 1~9999Hz

周波数計と切換により共用とします

4. 指示計ダンピング出力

- 1) 出力電流 DC0~6.5mA
- 2) 電流設定 キーボード (4.3mA)
- 3) 出力周期 1~10秒1秒単位

5. 絶縁抵抗計

- 1) 印可電圧 DC500V
- 2) 測定範囲 0.01~199.9MΩ
- 3) 測定精度 ±5%以内
- 4) 測定周期 0.5秒以内

6. 発電機駆動部

- 1) 駆動方式 速度制御用ACサーボモータ
- 2) 出力 300W20kg-cm
- 3) 回転数 1500r/min以上 (φ760mmにて210km/h相当)
- 4) 安定度 0.01%以内
- 5) 指示計接続 最大2指示計
- 6) 補償器接続 1台
- 7) その他 FAC発電機は縦方向アダプタ取付
各形式発電機は詳細図御提示により
治具を加工いたします。

ソフト画面



試験設定(周波数式) ファイル: DEFAULT.TSF

設定項目	単位	1	2	3	4
車輪径	mmφ	860			
出力電圧	V	10.0	22.0	30.0	36.0
速度	Km/h	30	60	90	120

規定値項目	単位	1	2	3	4
交流電流計	mA	20.00	45.00	58.00	64.00
±範囲	%	5.0	5.0	5.0	5.0
交流電圧計	V	10.0	21.0	28.0	32.0
±範囲	%	5.0	5.0	5.0	5.0
直流電流計	mA	1.50	3.25	4.88	6.50
±範囲	%	5.0	5.0	5.0	5.0
速度計	Km/h	30.0	60.0	90.0	120.0
±範囲	%	5.0	5.0	5.0	5.0
周波数計	Hz	278	555	833	1110
±範囲	%	1.0	1.0	1.0	1.0

試験

1. 発電機特性試験
2. 整流器特性試験
3. 補償器特性試験
4. 指示計特性試験
5. 組合せ特性試験
6. 発電機・補償器・指示計内部抵抗測定
7. 指示計ダンピング特性試験
8. 発電機絶縁抵抗試験

例 組合せ特性試験

組合せ特性試験は指定項目の押ボタンスイッチを選択する事により試験に必要な各測定条件が設定されます。車輪径の補正はディスプレイの指示事項に依りキーボードを用いて任意に設定します。手動試験モードの場合は回転数設定ダイヤルを用い設定車輪径の補正回路を通して、指示計の指針を確認しキーボードの指定キーで各測定値を読取ります。自動試験モードの場合は、指示計の電流値(M1またはM2)を基本として自動的に速度を設定し安定後各測定値を自動読取ります。

